

(様式-2) 記入上の注意点

優秀施工者国土交通大臣顕彰審査表

整理番号				
0. 推薦者			写真貼付欄  ・ 5cm×5cm ・ 上半身正面 ・ 写真の裏面には 候補者の氏名を記載 (表面に響かないように注意) 正副1枚に別1枚の合計3枚 ( 年 月撮影)	
0の太枠の中は記入しないこと				
本調査の記入者	ふりがな	所属部署		
		TEL ( )		
	氏名	FAX ( )		
1. 候補者に関する事項				
ふりがな		性別		男・女
氏名	楷書体で丁寧に書くこと			
生年月日	昭和 年 月 日	年齢		満 (H23. 5. 24時点) 歳
現住所	(〒 - ) 都道府県から記入 ↓H23. 5. 24時点とし、1年未満は切り捨て			
TEL ( )		現場業務従事期間 年	現会社での所属期間 年	
主たる担当職種	必ず別紙「技能職種名称一覧」より選ぶこと			
具体的職務内容	最近の職務内容を具体的に			
2. 所属会社に関する事項				
ふりがな		業種	完成工事高の多い許可業種	
企業名	個人事業主は経営する会社名	資本金	(個人事業主なら不要) 百万円	
所在地	(〒 - ) 都道府県から記入			
TEL ( )		所属部署	少なくとも課名まで。個人事業主なら不要	
加入団体	全て記入すること			
3. 推薦理由				
候補者が本顕彰を受けるにふさわしい者であることの説明を記入すること。				
顕彰要領第3条(様式3の推薦基準)を満たす者であることがをまとめられていると望ましい。				

(注) 整理番号欄は何も記入しないこと。

## 推薦基準調書 記入上の注意

推薦基準	推薦事由	推薦根拠	備考
1 技能・技術が優秀であること	候補者の職務内容、役割を明示した上で、その技能、技術が特に優れていることを具体的に説明すること	(技能資格)  (技術資格)  証拠となる書類の写しを添付し、通し番号を付けること	
2 ①技術開発、施工の合理化を図り顕著な成績を挙げていること  ②建設工事に相当の実績があること	新しい機械・設備の開発や工法の改善に取り組んでいることを示すこと。  数だけではなく、顕彰にふさわしい工事経歴を積んできたことを具体的に説明すること。	(具体的改善内容)  新工法開発に関する新聞記事や会報、論文やQCサークル大会での資料・表彰状などを添付すること  (代表的工事名・担当職務) 別紙工事経歴書としても可	
3 後進の指導育成に努めていること	社内OJTはもちろん、後進の資格指導や職業訓練指導員などの具体的な実績を記入すること	(指導期間、指導機関)  講師などを勤めている場合は機関・期間をできるだけ記載すること。社内OJTの写真も可。職業指導員免許証などあれば記載し写しを添付すること。	
4 工事施工において安全・衛生の向上に貢献していること	無事故期間を右の推薦根拠に明示し、安全衛生の向上のために積極的に取り組んでいることを説明すること	(無事故期間 年 ヲ月)  証明できる期間を記載すること。 職長教育、安全衛生管理者講習など受講済の場合ここに記載し、写しを添付すること	
5 他の建設現場従事者の模範であること	現場労働者の模範たり得る人間であることを示し、後進確保のための取り組みなどあれば具体的に記載すること	(表彰等)  知事表彰や従業員表彰などあれば記載し、写しを添付すること	
6 その他	その他顕彰を受けるにふさわしい具体的な事由があれば記載のこと	警察署長や消防協会、交通安全協会の表彰状、感謝状などあれば記載し、写しを添付すること	

(注) A4版とすること。

様式3で指導・育成経歴書を別紙とする場合の記入例

(講師等実績)

期 間	研修・講習・役職等の名称	実 施 機 関
平成〇年〇月～平成〇年〇月	〇〇受験のための特別講習会	〇〇業協同組合
平成〇年〇月～平成〇年〇月	品質管理講習会	〇〇業協同組合
平成〇年〇月～平成〇年〇月	「〇〇作業に係わる理論と実技」	〇〇職業能力訓練校
平成〇年〇月～平成〇年〇月	〇〇科講師	〇〇職業能力訓練校
平成〇年〇月～平成〇年〇月	〇〇科技能検定員	〇〇県職業能力開発協会
平成〇年〇月～平成〇年〇月	職長候補者育成指導員	所属企業 (〇〇工業(株))
平成〇年〇月～平成〇年〇月	〇JTの実施	所属企業 (〇〇工業(株))

(取得資格)

取得時期	資 格 名
平成〇年〇月	職業訓練指導員免許 (〇〇科) 取得

(表彰等)

表彰時期	表 彰 名
平成〇年〇月	〇〇県職業能力開発協会からの感謝状

様式3で工事経歴書を別紙とする場合の記入例

期 間	工事名（現場名）	担 当 職 務	当時の役職
平成○年○月～平成●年●月	△△△△ビル (地上○階地下○階) (延床面積○○○㎡)	足場組立作業	作業員
平成×年×月～平成◎年◎月	▲▲▲▲ホテル (地上○階地下○階) (延床面積○○○㎡)	仮設工事作業、管理及び現場指揮	職長
平成◇年◇月～平成◆年◆月	▽▽▽▽発電所 (延床面積○○○㎡)	仮設工事並びに基礎工事作業、管理及び現場指揮	職長

(様式-4) の記入例

## 経 歴 書

候補者氏名 建設 太郎

生年月日 昭和29年5月30日

最終学歴		
昭和48年	3月	〇〇県立××高校▽▽科 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">卒業</span> ・ 中退
昭和49年	3月	△△専門学校□□科 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">卒業</span> ・ 中退

職 歴		
在 職 時 期	在 職 期 間	会 社 ・ 職 名
	うち現場業務従事期間	
自 昭和49年 4月 1日	2年 10月	株式会社〇〇販売 事務員
至 昭和52年 1月31日	- 年 一月	
自 昭和52年 2月 1日	9年 8月	□□建設株式会社 作業員
至 昭和61年 9月30日	9年 8月	
自 昭和61年10月 1日	4年 6月	同 上 作業主任
至 平成 3年 3月31日	4年 6月	
自 平成 3年 4月 1日	3年 月	同 上 職 長
至 平成 6年 3月31日	2年 6月	
自 平成 6年 4月 1日	17年 2月	同 上 職 長
至 平成23年 5月24日	15年 6月	
	12年 月	
在 職 期 間 合 計	37年 2月	
うち現場業務従事期間合計	32年 2月	
うち工事施工期間合計	28年 8月	

賞 罰	
建設業関係	平成 6年10月31日 〇〇知事より◇◇表彰 年 月 日
上記以外	昭和60年 3月31日 ××警察署長より□□表彰

資 格 ・ 免 許	
建設業関係	年 月 日 } 別紙
	年 月 日 }
	年 月 日 }

様式4で資格・免許欄を別紙とする場合の記入例

取得日	資格・免許
昭和52年10月	××技能講習修了
昭和54年 3月	○×技能講習修了
昭和55年 6月	△△作業主任者講習修了
昭和56年10月	2級○○技能検定合格
昭和62年 3月	1級○○技能検定合格
昭和63年 5月	職長教育修了
平成 6年 3月	2級○○施工管理技術検定合格

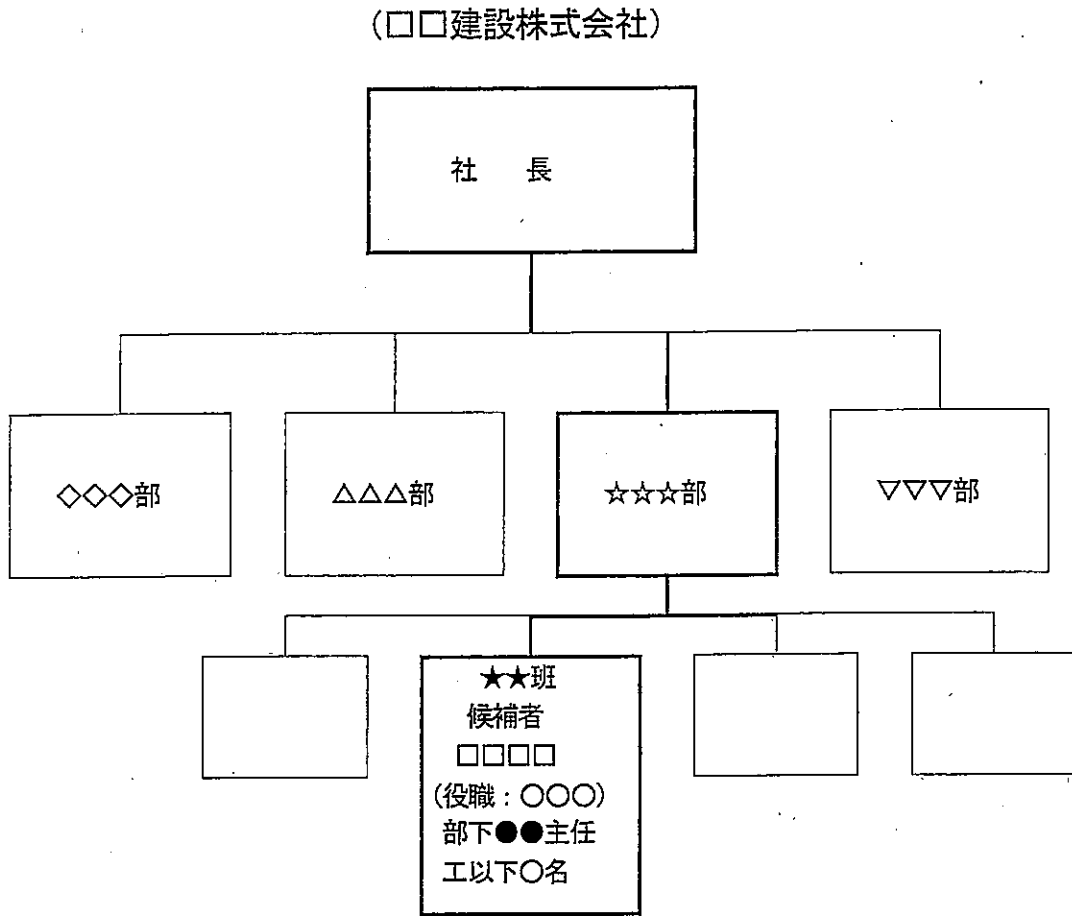
(様式-5) の記入例

会 社 概 要 調 書

平成22年11月30日 現在

会 社 名	□□建設株式会社
設 立 年 月 日	昭和44年7月1日
資 本 金	20百万円
代 表 者 名	代表取締役社長 ○○ ○○
役 員 数	3名 (監査役を除く)
従 業 員 数	20名
支 店 所 在 地	△△県に2箇所、××県に1箇所
直近1年間の業績	完成工事高 500百万円 自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日
営 業 種 目	1 とび・土工事業 2 建築工事業 3 土木工事業
備 考	会社の変更内容等  昭和3年5月 とび工事業□□創業 昭和30年4月 □□工業に名称変更 昭和44年7月 □□建設株式会社に組織変更

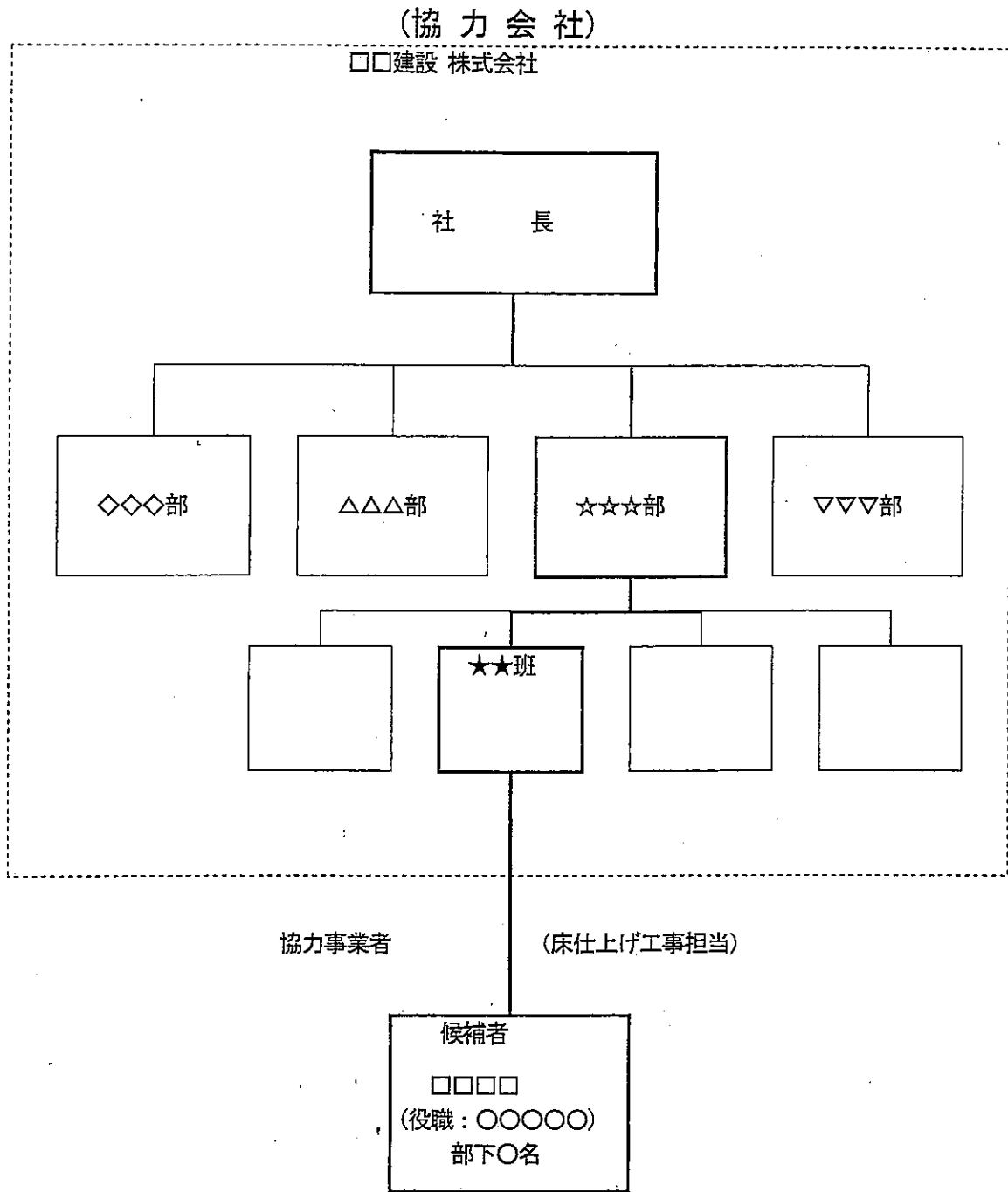
組織図  
(候補者が建設会社に所属している場合)



(注) 候補者の所属する位置を必ず明示すること。  
組織の部署を図示し、候補者に関する系統は太字で表すこと。  
候補者の部下数も記入すること。



組織図  
(候補者が個人事業者の場合)



(注) 候補者の所属する位置を必ず明示すること。  
組織の部署を図示し、候補者に関する系統は太字で表すこと。  
候補者の部下数も記入すること。

(様式 - 8) の記入例

## 無事故証明書

候補者氏名 建設 太郎

生年月日 昭和 29 年 5 月 30 日

上記の者は、建設現場業務において常に安全・衛生に万全を期しており、19年1ヵ月間（平成3年11月～平成22年11月）にわたって、自己責任上の事故をおこしていないことを証明いたします。

平成 22 年 11 月 30 日

(記入例 1) 候補者が建設会社に所属している場合

(ただし、団体証明も可)

□□建設株式会社

○○支店長 × × × ×



(記入例 2) 候補者が個人事業者の場合

社団法人○○県△△業協会

会長 ▽ ▽ ▽ ▽



応募された作文につきましては、顕彰式当日に、被顕彰者と決定された方のお子さん等から応募されたものの中から、代表となるものについて、その内容を紹介させていただきます。

(1) 応募資格

候補者のお子さん・お孫さん・甥御さん・姪御さん（未成年者（平成23年5月24日現在）に限る）

(2) テーマ

「ぼく・わたしから見たお父さん・お母さん（おじいさん・おばあさん、おじさん・おばさん）の仕事」

（候補者の仕事に関する作文であれば、題名は自由です）

例えば、

- ・建設技能者として働く候補者を誇りに思ったこと
  - ・家庭で建設技能者という仕事について見聞きして感じたこと
  - ・建設技能者という仕事について思っていること、感じていること
- などを書いてください。

(3) 文字数

400字詰め原稿用紙1～3枚程度（400字～1,200字程度）

手書きの場合は、鉛筆（HB以上）またはボールペンで記入してください。

ワードプロセッサ等で作成し、プリントアウトしての応募も可能です。

作文には、本文の前に、題名、氏名（ふりがな）を記入してください。

(4) 応募点数

1人1編

（1人の候補者について複数の応募資格者がいる場合は、複数応募していただいても構いません）

(5) 応募方法

作文と応募用紙（様式9）を綴り、応募してください。（クリップ留めで結構です）

応募は、推薦団体を通じて応募してください。

最終〆切は平成23年1月31日（月）ですが、推薦団体を經由しての応募となりますので、〆切間際の応募とならないようにご注意ください。

(6) その他

応募された作文はお返しできませんので、ご了承ください。

応募された作文につきましては、顕彰式当日に内容を紹介する場合があるほか、顕彰制度・被顕彰者の広報活動に利用する場合がありますので、その点をご理解の上ご応募ください。